

2022年3月2日

NEWS RELEASE

株式会社 J-ケミカル

グリーンフェノール樹脂の製造について

三菱ガス化学株式会社の連結子会社である株式会社 J-ケミカル（本社:東京都中央区、社長:田代 靖、4月2日に MGC ウッドケム株式会社へ社名変更予定、以下、当社）は、三井化学株式会社が製造する ISCC PLUS 認証のバイオフィェノールを原料に使用した合板用フェノール樹脂接着剤の製造を開始したことをお知らせいたします。

合板や木質ボードメーカーなどの接着剤の顧客、その川下の住宅メーカーやゼネコンなどサプライチェーン全体を通じた市場調査を行い、今後はグリーン原料の導入量増加や認証取得を進めていく予定です。

また、当社は、フェノール樹脂などホルムアルデヒド系樹脂接着剤のもうひとつの主要原料であるホルマリンのグリーン化も進めていく予定です。親会社の三菱ガス化学では「環境循環型メタノール構想」を掲げ、メタノールを CO₂、バイオマス、廃プラスチック等から製造することに取り組んでいます（[2021年3月30日付け三菱ガス化学ニュースリリース参照](#)）。このメタノールから当社でホルマリンを製造し、バイオフィェノールとともにフェノール樹脂接着剤を製造することを目指しています。

当社は、合板や木質ボード等の木質建材向けにホルムアルデヒド系樹脂接着剤を製造販売しています。フェノール樹脂はフェノールとホルマリン（ホルムアルデヒド水溶液）が主要原料であり、従来はいずれも化石資源由来でした。

木質バイオマス材料である合板や木質ボードの利用は、CO₂ 排出量削減や国土保全に貢献しますが、木材を建材に加工する際には化石原料由来の接着剤が使用されています。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、さらに木質建材の価値を高めるためにも、当社は木質建材用接着剤のバイオマス化を重要な課題と捉え、接着剤のバイオマス化に取り組んでいます。フェノールとホルマリンの主要原料の全てをグリーン化することで CO₂ 排出量の削減が期待されます。

脱炭素社会や循環型社会の実現へ向けて、リグニンの利用などを含め木質バイオマスのさらなる利用拡大に貢献できるよう、開発を加速していきます。

以上

< 本件に関するお問合せ先 >

東京営業所:日吉 TEL: **03-5148-7131**

E-MAIL: takahiko.hiyoshi@j-oil.com

大阪営業所:三枝 TEL: **06-6441-2414**

E-MAIL: kazuhito.saegusa@j-oil.com

HOME PAGE : <http://www.j-chemical.co.jp/>